

平成31年度
わかりやすい予算書
(予算概要書)



～ 目次 ～

I 予算の全体像

- | | |
|-------------------|---|
| 1. 粕屋町の財政状況（普通会計） | 1 |
| 2. 平成31年度の予算総額 | 3 |

II 歳入（一般会計）

- | | |
|----------|---|
| 1. 歳入の構成 | 4 |
|----------|---|

III 歳出（一般会計）

- | | |
|------------|---|
| 1. 目的別歳出予算 | 5 |
| 2. 性質別歳出予算 | 6 |

IV 平成31年度 主要な事務事業

- | | |
|-------------------|---|
| 1. 事務事業説明の見方 | 7 |
| 2. 平成31年度 主要な事務事業 | 7 |

V 予算資料

- | | |
|----------------------------|----|
| 1. 総括表 | 15 |
| 2. 予算規模の推移（一般会計・特別会計・企業会計） | 16 |
| 3. 自主財源比率の推移（一般会計） | 17 |
| 4. 消費的経費・投資的経費の推移（一般会計） | 18 |
| 5. 地方債残高の推移（一般会計） | 19 |
| 6. 公債費の推移（一般会計） | 19 |
| 7. 普通交付税と臨時財政対策債の推移 | 20 |
| 8. 基金の推移 | 20 |
| 9. 地方債と基金の状況 | 21 |

I 予算の全体像

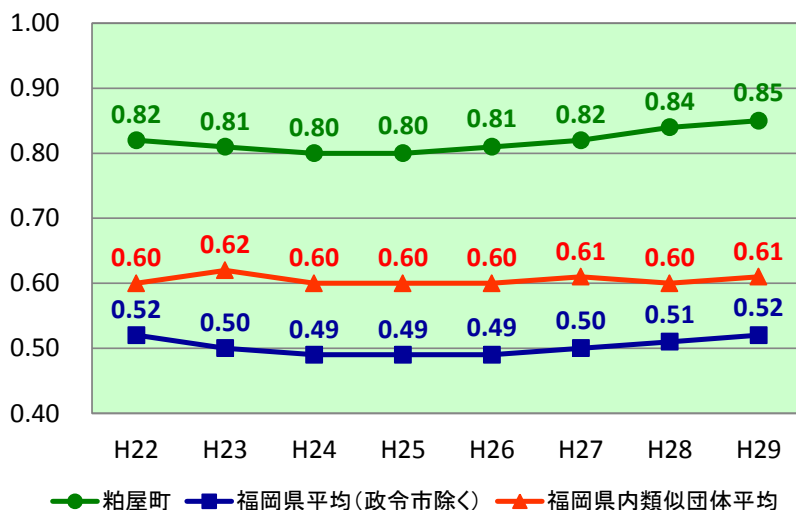
1. 粕屋町の財政状況（普通会計）

平成29年度普通会計（一般会計及び住宅新築資金等貸付事業特別会計）決算では、実質収支が約4億7千万円の黒字となりました。基金については、財政調整基金・減債基金・公共施設整備基金の三基金における年度末残高が、前年度から約2億3千万円増加し、28億5,291万7千円となっています。また、町債の年度末残高は106億2,212万6千円で、前年度から約1億3千万円増加しましたが、後年度の地方交付税に算入される臨時財政対策債残高の増加によるものであり、通常債残高は前年度から減少しています。

財政の健全性を示す財政健全化判断比率について、実質公債費比率は福岡県平均を上回っていますが減少傾向にあり、将来負担比率は近年福岡県平均を下回り、低い水準で推移しています。両比率ともに国が示す早期健全化基準を大きく下回っており、財政の健全性は確保されています。

今後は、社会保障関連経費の伸びや公共施設の老朽化への対応などにより多くの支出が見込まれており、一方で収入については、人口の増加などに伴い町税収入は増加していくと見込まれるものの、町税と代替関係にある地方交付税が、税収増により減少していくと考えられるため、一般財源総額としては大幅な増加は期待できず、厳しい状況が続く見通しです。

■ 財政力指数 ■



【財政力指数とは】

自治体の財政力をあらわす指標で、数値が大きいほど財政的に安定した団体とされ、「1」を超えると地方交付税が交付されなくなります。

粕屋町は福岡県平均値を大きく上回っています。



【類似団体とは】

国勢調査を基に、市町村を人口と産業構造により分類したもので、類似する他の自治体と比較することで、自町の財政状況の特徴などを把握することが可能になります。福岡県内の類似団体には、宇美町・篠栗町・志免町・須恵町・新宮町・岡垣町などがあります。

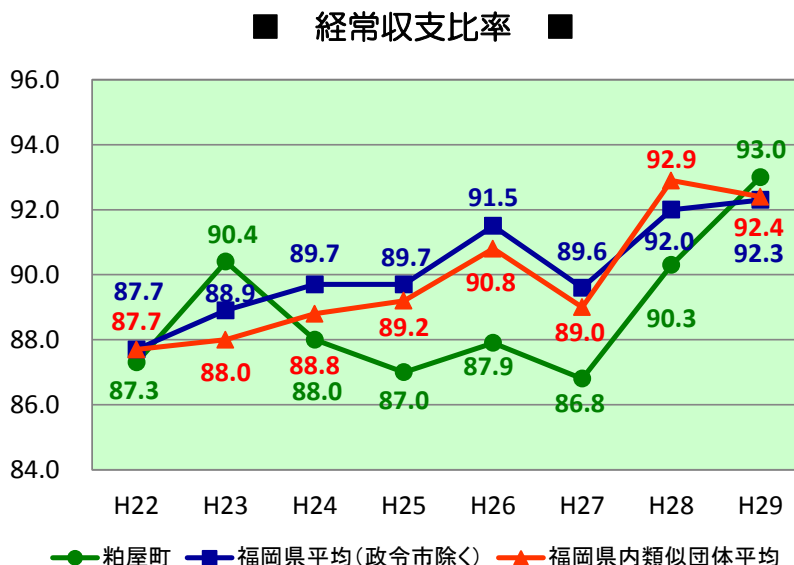
【標準財政規模とは】

地方公共団体の標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模を示すものです。

【経常収支比率とは】

地方税・地方交付税などの経常一般財源収入に占める人件費・扶助費など経常的な経費の割合のことです。

この2年間で 6.2 ポイント上昇するなど、町財政の硬直化は進んでおり、道路や生活基盤整備などの投資的事業にまわす余力に乏しい状況が続いています。

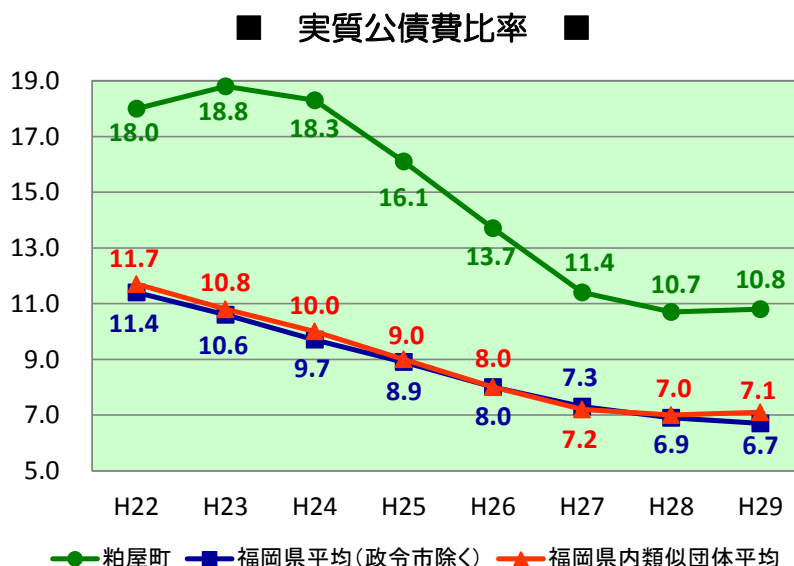


【実質公債費比率とは】

実質的な公債費に充てる一般財源の標準財政規模に対する比率のことです。

福岡県平均値を上回っていますが、平成 23 年度をピークに減少傾向にあります。

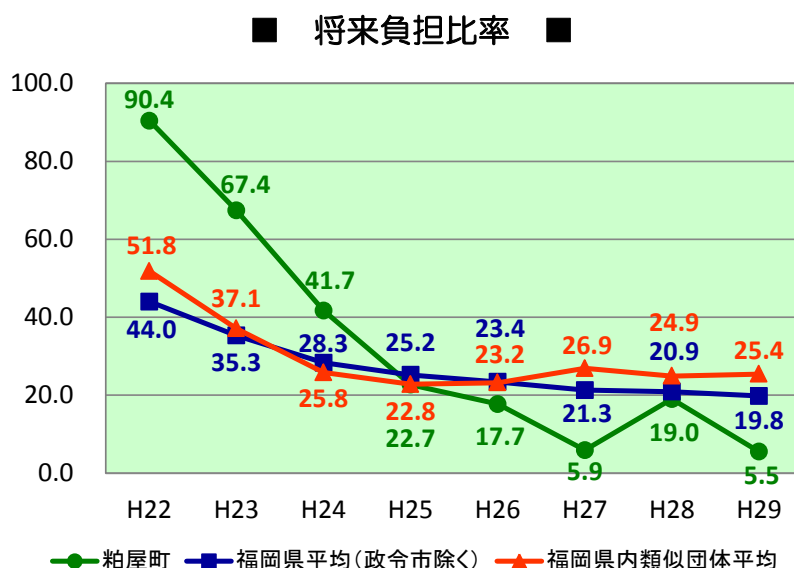
今後も町債の発行については、償還の平準化を考え、計画的に行う必要があります。



【将来負担比率とは】

自治体が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率のことです。

近年は低い水準で推移しており、引き続き、投資的事業については、将来世代へ過度な負担をさせることなく、世代間の公平性に配慮して進めていく必要があります。



2. 平成31年度の予算総額

一般会計予算は**145億9,700万円**となっており、特別会計と企業会計を合わせた予算総額は**254億597万6千円**です。前年度当初予算から**11億834万7千円(4.6%)**の増額となります。

※対前年比は、前年度の当初予算との比較

粕屋町の予算総額 **254億597万6千円** 対前年比 **4.6%↑**

一般会計予算 **145億9,700万円** 対前年比 **7.1%↑**

粕屋町の一般的な予算のことで、税収や交付金などの歳入を、道路整備や福祉サービスなどの行政サービス全般に使います。



特別会計予算 **69億9,403万3千円** 対前年比 **1.5%↑**

(内訳)

- ・国民健康保険特別会計 40億1,072万2千円 △1.0%
- ・後期高齢者医療特別会計 5億1,681万6千円 4.2%↑
- ・介護保険特別会計 24億6,532万円 5.5%↑
- ・住宅新築資金等貸付事業特別会計 117万5千円 16.3%↑

ある特定の収入を特定の目的のために使用する会計予算のことで、一般会計とは区分して経理を行います。粕屋町には上記4つの特別会計があります。



企業会計予算 **38億1,494万3千円** 対前年比 **1.0%↑**

(内訳)

- ・水道事業会計 14億2,719万円 7.5%↑
- ・流域関連公共下水道事業会計 23億8,775万3千円 △2.6%

特定事業について、民間企業と同様に事業を行った収入を事業費に充てて運営していく独立採算制の予算です。粕屋町には上記2つの企業会計があります。

Ⅱ 歳入（一般会計）

1. 歳入の構成

自主財源は、大半を占める町税が前年度比**2億3,632万円(3.8%)**の増となりました。一方、依存財源は、町債や国・県支出金などの増により、前年度比**9億4,818万2千円(17.1%)**の大幅な増加となっています。そのため、歳入全体に占める自主財源の割合は前年度から**3.8ポイント**下がり**55.5%**となりました。

〈用語の説明〉

【町税】

町民の皆さまに納めていただく税金です

【繰入金】

歳入不足を補うため、積み立てていた基金から繰り入れるのが主で、特別会計への繰出金を精算後繰り入れることもあります

【町債】

町が事業資金を調達するための借金及び地方交付税の振替である特例地方債（臨時財政対策債）で、中長期にわたり返済します

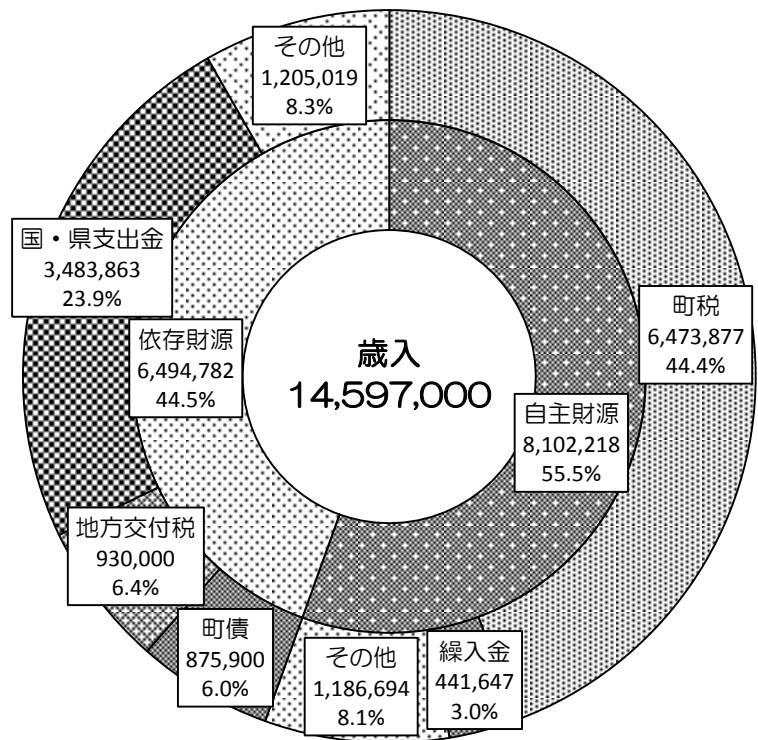
【地方交付税】

県や市町村の財政状況に応じて国から地方に交付されるお金です

【国・県支出金】

町がおこなう事務や事業に対する国や県からの補助金（負担金）です

(単位：千円)



※端数処理（四捨五入）により合計が一致しない場合があります。

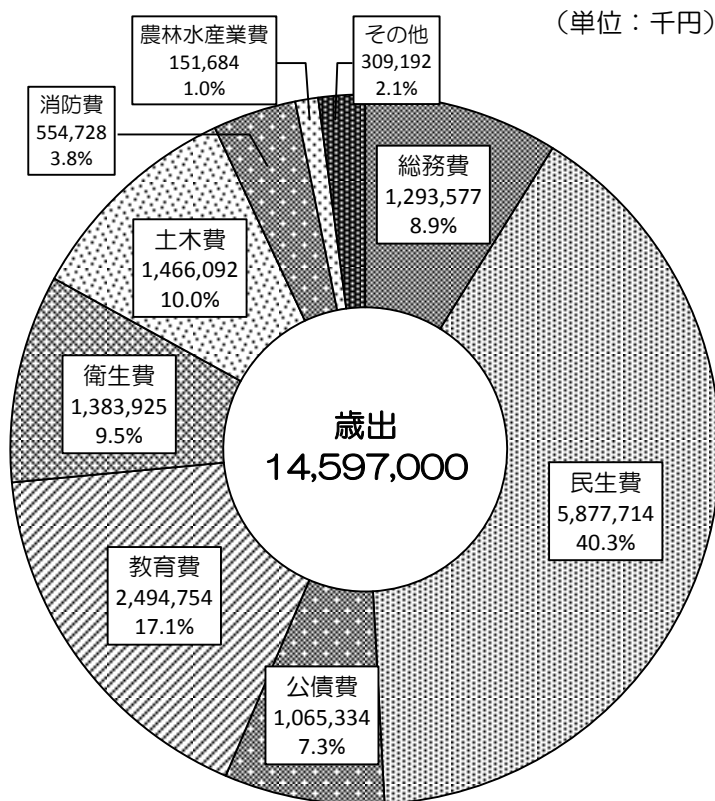
(単位：千円)

歳入構成		31年度当初予算額	30年度当初予算額	比較	対前年比 (%)
自主財源	町税	6,473,877	6,237,557	236,320	3.8
	繰入金	441,647	452,323	△ 10,676	△ 2.4
	その他	1,186,694	1,394,520	△ 207,826	△ 14.9
	計	8,102,218	8,084,400	17,818	0.2
依存財源	町債	875,900	618,300	257,600	41.7
	地方交付税	930,000	1,000,000	△ 70,000	△ 7.0
	国・県支出金	3,483,863	2,895,300	588,563	20.3
	その他	1,205,019	1,033,000	172,019	16.7
	計	6,494,782	5,546,600	948,182	17.1
合計		14,597,000	13,631,000	966,000	7.1

Ⅲ 歳出（一般会計）

1. 目的別歳出予算

私立保育所等運営委託料の増加や障がい者（児）サービス事業費の増加などに伴い、民生費が前年度比**4億1,529万7千円（7.6%）**の増となりました。また、小学校大規模改造工事や学童保育所増築工事の実施などにより、教育費は前年度比**2億8,467万1千円（12.9%）**の増となりました。



《用語の説明》

【総務費】 行政運営の事務や町税の事務などの経費

【民生費】 高齢者や障がい者などの福祉、保育所の運営などの経費

【公債費】 地方債の元金及び利子の返済のための経費

【教育費】 小中学校や生涯学習、図書館、体育事業などの経費

【衛生費】 保健、健康づくり、ごみ、環境対策などの経費

【土木費】 道路、水路、公園などの維持管理や町営住宅の経費

【消防費】 消防署、消防団の運営や防災の経費

【農林水産業費】 農業振興のための経費

※端数処理（四捨五入）により合計が一致しない場合があります。

(単位：千円)

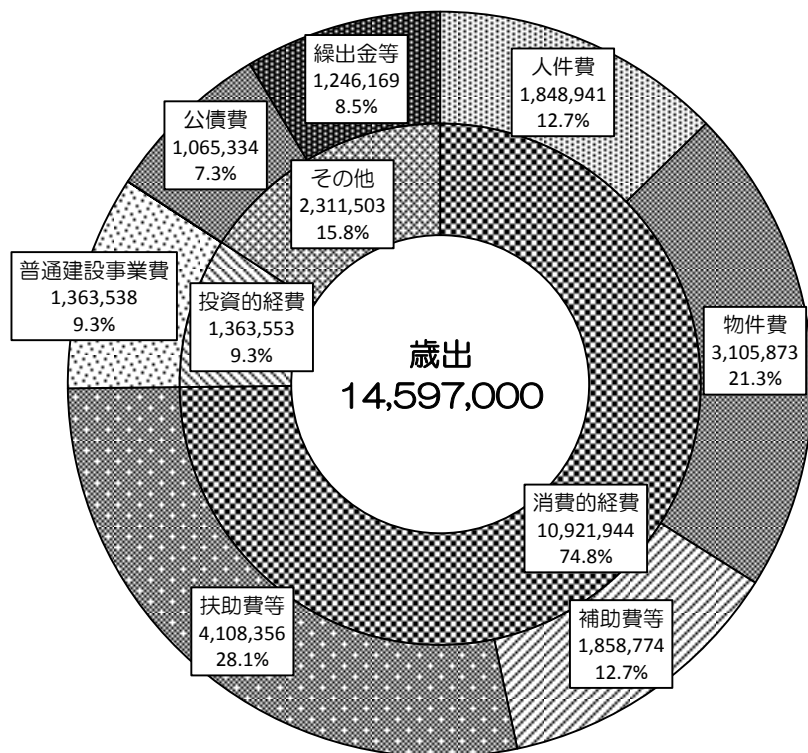
目的別歳出構成	31年度当初予算額	30年度当初予算額	比較	対前年比 (%)
総務費	1,293,577	1,179,536	114,041	9.7
民生費	5,877,714	5,462,417	415,297	7.6
公債費	1,065,334	1,086,482	△ 21,148	△ 1.9
教育費	2,494,754	2,210,083	284,671	12.9
衛生費	1,383,925	1,402,004	△ 18,079	△ 1.3
土木費	1,466,092	1,348,931	117,161	8.7
消防費	554,728	542,897	11,831	2.2
農林水産業費	151,684	94,903	56,781	59.8
その他	309,192	303,747	5,445	1.8
合計	14,597,000	13,631,000	966,000	7.1

2. 性質別歳出予算

物件費が前年度比**3億1,360万6千円(11.2%)**の増、扶助費等が前年度比**3億5,593万8千円(9.5%)**の増となり、消費的経費は前年度比**6億4,631万6千円(6.3%)**の大幅な増加となりました。また、普通建設事業費が前年度比**3億4,434万6千円(33.8%)**の増となったことにより、投資的経費の割合は**9.3%**と前年度から**1.8ポイント**上昇しました。

《用語の説明》

(単位：千円)



※端数処理（四捨五入）により合計が一致しない場合があります。

【消費的経費】 支出効果が単年度又は短期間に終わるもの、後年度に形を残さない経費

【投資的経費】 社会資本整備など、支出の効果が長期にわたる経費

【人件費】 職員の給与、議員や各種委員の報酬などの経費

【物件費】 物品購入、光熱水費、通信費、使用料、委託料などの経費

【補助費等】 各種団体や一部事務組合などに対し補助（負担）する経費

【扶助費】 法令などにに基づき給付されるお金や物品などの経費

【普通建設事業費】 道路、学校などの公共施設の新増設や改修に要する経費

【災害復旧事業費】 風水害、地震災害を受けた施設等を復旧する経費

(単位：千円)

性質別歳出構成		31年度当初予算額	30年度当初予算額	比較	対前年比 (%)
消費的経費	人件費	1,848,941	1,812,906	36,035	2.0
	物件費	3,105,873	2,792,267	313,606	11.2
	補助費等	1,858,774	1,918,037	△ 59,263	△ 3.1
	扶助費等	4,108,356	3,752,418	355,938	9.5
	計	10,921,944	10,275,628	646,316	6.3
投資的経費	普通建設事業費	1,363,538	1,019,192	344,346	33.8
	災害復旧事業費	15	15	0	0.0
	失業対策費	0	0	0	-
	計	1,363,553	1,019,207	344,346	33.8
その他	公債費	1,065,334	1,086,482	△ 21,148	△ 1.9
	繰出金等	1,246,169	1,249,683	△ 3,514	△ 0.3
	計	2,311,503	2,336,165	△ 24,662	△ 1.1
合計		14,597,000	13,631,000	966,000	7.1

Ⅳ 平成31年度 主要な事務事業

1. 事務事業説明の見方

例)小・中学校施設整備事業の場合

重点	小・中学校施設整備事業	事務事業名	会計名	事業費の 財源内訳	担当課の連絡先
※事業費	360,806 千円	一般会計(教育費)			学校教育課 ☎ 938-0182
	財源内訳(国費53,485・町費100,521・地方債206,800)				
<p>児童生徒が安全で安心して学習できる教育環境の整備を進めるため、学校施設の維持管理や計画的な施設の改修を行います。 今年度は、仲原小学校校舎の大規模改造工事、小・中学校のブロック塀改修工事等を行います。</p>			事業の説明		事業に関する 写真・イラストなど
					仲原小学校校舎

2. 平成31年度 主要な事務事業

平成31年度は157の事務事業を予定しており、主要な事務事業について掲載しています。
※事業費に正規職員の人件費は含んでいません。

基本目標 1 つながりと交流を深め、心豊かな人を育む協働のまち

この政策の実現のため、平成31年度は予算額25億4,488万円を計上し、44事務事業を実施します。

1 地域のつながりを大切にしまちづくり

予算額 91,249千円(5事務事業)

重点 まちづくり活動支援事業
事業費 9,940 千円 一般会計(総務費)
財源内訳(町費4,590・その他5,350)

協働のまちづくりを推進するため、公益的なまちづくり活動を行う団体や個人を支援します。
また、まちづくり活動支援室を活用し、地域住民の交流機会の提供とまちづくり活動への参画を推進します。

協働のまちづくり課 ☎ 938-0173



しめ縄づくりによる世代間交流

2 地域でともに助け合う安全なまちづくり 予算額 578,694千円(14事務事業)

重点 災害対策事業

協働のまちづくり課 ☎ 938-0173

事業費 35,471 千円 一般会計(消防費)

財源内訳(国費2,443・県費1,500・町費25,628・地方債5,900)

近年多発する自然災害に対して、「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助意識の醸成と地域防災力を強化するため、防災講座等を通じて住民の意識及び知識の向上を図ります。

今年度は、新しい防災マップを作成し、全戸配布にあわせて自主防災組織の強化に取り組み、災害に強いまちづくりを推進します。



粕屋町防災マップ

3 未来を担う子どもたちを育むまちづくり 予算額 1,292,363千円(12事務事業)

重点 小・中学校施設整備事業

学校教育課 ☎ 938-0182

事業費 360,806 千円 一般会計(教育費)

財源内訳(国費53,485・町費100,521・地方債206,800)

児童生徒が安全で安心して学習できる教育環境の整備を進めるため、学校施設の維持管理や計画的な施設の改修を行います。

今年度は、仲原小学校校舎の大規模改造工事、小・中学校のブロック塀改修工事等を行います。



仲原小学校校舎

重点 教育総務事務

学校教育課 ☎ 938-0182

事業費 24,609 千円 一般会計(教育費)

財源内訳(県費1,526・町費23,083)

小・中学校の学校運営を支援するとともに、地域や関係団体と一体となり、教育全般の向上を図ります。

教育相談や福祉・心理の専門家であるスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーに加え、新たに法的側面の支援としてスクールロイヤーを導入し、教育支援を充実させます。



4 身近な学びと交流があるまちづくり 予算額 582,574千円(13事業)

重点 福祉センター管理運営事業

介護福祉課 ☎ 938-0229

事業費 36,383 千円 一般会計(民生費)

財源内訳(国費1,283・町費30,600・その他4,500)

福祉センターを地域の人々が安心して生活することができる「福祉のまちづくり」の場として提供するため、福祉センターの施設及び運営の管理を行います。

4月1日から、福祉巡回バス(ふれあいバス)の土日祝日運行を開始し、住民の利便性の向上を図ります。



福祉巡回バス(ふれあいバス)

基本目標 2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち

この政策の実現のため、平成31年度は予算額30億2,852万3千円を計上し、34事務事業を実施します。

1 自然と調和した便利で快適なまちづくり

予算額 275,026千円(10事務事業)

重点 都市計画管理事務

事業費 7,227 千円 一般会計(土木費)

財源内訳(国費490・県費510・町費6,157・その他70)

粕屋町国土利用計画・都市計画マスタープランに即したまちづくりの推進と秩序ある土地利用を促進します。

昨年度に引き続き、まちづくりの推進の基本となる粕屋町都市計画マスタープランの中間見直しを行います。

都市計画課 ☎938-0208



区画整理事業による整った街並み

重点 地域生活空間整備促進事業

事業費 128,300 千円 一般会計(土木費)

財源内訳(町費128,300)

都市と自然が調和したゆとりあるまちづくりのため、粕屋町都市計画マスタープランに即したまちづくりの推進と秩序ある土地利用を促進します。

今年度も、町の発展に結びつく計画的なまちづくりを進める酒殿駅南土地区画整理事業に対し支援を行います。

都市計画課 ☎938-0208



酒殿駅南地区街並みイメージ

2 安心して快適な生活基盤を備えたまちづくり

予算額 2,172,880千円(14事務事業)

重点 橋梁維持事業

事業費 105,390 千円 一般会計(土木費)

財源内訳(国費45,650・町費29,840・地方債29,900)

橋梁の長寿命化を図るため、点検及び維持補修を行い、道路網の安全及び交通体系の確保を行います。

今年度は、江辻橋の補修工事及び道路橋定期点検を国庫補助事業で実施します。

道路環境整備課 ☎938-0198



江辻橋

重点 街路建設事業に伴う町事業

事業費 102,500 千円 一般会計(土木費)

財源内訳(町費70,700・地方債31,800)

交通渋滞の解消と安全で快適な交通網の実現等、広域交通網を充実させていくため、福岡県と協力し、街路建設を進めます。

今年度も、平成33年3月竣工を目指し、都市計画道路粕屋久山線建設事業を行います。

都市計画課 ☎938-0208



多々良川に架かる橋を工事中

水道事業

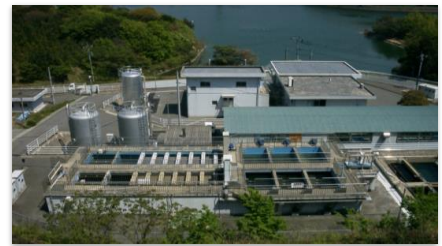
事業費 936,845 千円 水道事業会計

財源内訳(その他936,845)

安全・安心で良質な水を安定供給するために、水資源の確保と水質管理の徹底、水道施設や配水管等の適切な管理を行うとともに、経営基盤の強化を行います。

町民や事業者等への広報活動により、節水意識の啓発を継続していきます。

上下水道課 ☎938-0239



粕屋浄水場

3 自然にやさしく住みよい環境のまちづくり

予算額 444,309千円(7事業)

清掃センター保安管理事業

事業費 9,335 千円 一般会計(衛生費)

財源内訳(町費9,335)

清掃センターの安全を保つために、部外者侵入防止のための管理及び火災報知器設備の点検を行います。

今年度は、解体に向けセンター敷地内の土壌汚染調査を行います。

道路環境整備課 ☎938-0198



粕屋町清掃センター(旧焼却場)

4 地域個性を活かした活力ある産業のまちづくり

予算額 136,308千円(3事業)

重点 農業振興事業

事業費 101,981 千円 一般会計(農林水産業費)

財源内訳(県費15,279・町費68,046・地方債3,600・その他15,056)

農業の振興や農地保全・災害防止のために、農地治水に関する整備、維持管理を行い、農区をはじめとした関係機関との調整を図ります。

また、米の需給調整に係る転作作物等の生産者への助成や農地利用集積及び担い手育成を推進します。

地域振興課 ☎938-0194



改修予定の有崎堰

基本目標3 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち

この政策の実現のため、平成31年度は予算額130億9,138万7千円を計上し、49事務事業を実施します。

1 誰もが健康で暮らせるまちづくり

予算額 263,738千円(5事務事業)

重点 感染症予防事業

健康づくり課 ☎ 938-0258

事業費 172,650 千円 一般会計(衛生費)

財源内訳(県費250・町費172,400)

伝染のおそれのある疾病の発生やまん延を予防するとともに、個人の発病及び重症化を防止するため、予防接種法に基づく定期予防接種を実施します。

今年度より成人の風しん予防接種や小児のおたふくかぜ予防接種に対する助成事業を実施します。



2 子育て世代が明るく暮らせるまちづくり

予算額 3,556,648千円(17事務事業)

重点 町立保育所運営管理事業

子ども未来課 ☎ 938-0214

事業費 271,002 千円 一般会計(民生費)

財源内訳(国費32・町費162,830・地方債16,800・その他91,340)

保護者が安心して子育てができる環境を整備し、就労を支援することでワークライフ・バランスを確立し、児童の心身の健やかな発育を促進します。

今年度は、仲原保育所の屋根防水工事をはじめとした緊急老朽化対策を行い、増加する待機児童の対策について検討を進めます。



仲原保育所

重点 私立・町外保育施設等運営事業

子ども未来課 ☎ 938-0214

事業費 1,352,912 千円 一般会計(民生費)

財源内訳(国費554,964・県費269,200・町費327,748・その他201,000)

町内私立認可保育所、認定こども園、地域型保育施設及び町外保育施設に働きかけ、保護者が必要な支援を受けやすい環境を整えます。

就労等により家庭で保育ができない保護者に代わって保育施設が児童の保育を行うことで、ワークライフ・バランスの確立と児童の健やかな心身発達を促します。



重点 学童保育所運営事業

学校教育課 ☎ 938-0182

事業費 116,343 千円 一般会計(教育費)

財源内訳(国費49,156・県費22,894・町費27,273・その他17,020)

小学校の放課後等に保護者の就労などにより家庭が留守の状態となっている児童に対し、必要な保育を行い、健全育成を図ります。

今年度は、粕屋西小学校学童保育所において保育室の増設工事を行います。



粕屋西小学校学童保育所

私立幼稚園奨励事業

子ども未来課 ☎ 938-0214

事業費 58,681 千円 一般会計(民生費)

財源内訳(国費26,079・県費11,753・町費20,849)

幼児教育の発展のため、私立幼稚園の円滑な運営及び支援を必要とする家庭への就園援助を行います。

今年度10月より幼児教育の無償化が実施されます。



3 高齢者が元気に暮らせるまちづくり

予算額 184,660千円(6事業)

高齢者福祉事業

介護福祉課 ☎938-0229

事業費 18,422 千円 一般会計(民生費)

財源内訳(国費93・県費163・町費16,590・その他1,576)

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、ニーズに応じた高齢者支援サービスを提供します。

また、身体的、認知的に問題を抱える高齢者が、できる限り在宅生活を継続できるよう本人、その家族を支援します。

今年度は、認知症の方が起こした事故等による賠償責任に備えるための個人賠償責任保険の加入を進めます。



認知症及び徘徊SOSメール研修会

4 障がい者がともに暮らせるまちづくり

予算額 1,113,793千円(7事務事業)

障害者自立支援給付事業

介護福祉課 ☎938-0229

事業費 887,453 千円 一般会計(民生費)

財源内訳(国費439,969・県費220,041・町費227,443)

障がいのある方の自立支援を目的に、障がいの種類にかかわらず、それぞれの能力や適性に応じて、障害福祉サービスの提供を行い、福祉の増進を図るとともに、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向けて取り組みます。



5 誰もが心豊かに暮らせるまちづくり

予算額 7,972,548千円(14事務事業)

男女共同参画推進事業

協働のまちづくり課 ☎ 938-0173

事業費 4,920 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(町費4,920)

男女共同参画社会の形成のため、粕屋町男女共同参画計画及び粕屋町男女共同参画推進条例に基づき、各施策を推進します。

今年度は、粕屋町男女共同参画計画(後期計画)を策定します。



男女共同参画
シンボルマーク

町営住宅管理運営事業

介護福祉課 ☎938-0229

事業費 83,830 千円 一般会計(土木費)

財源内訳(国費29,491・地方債30,800・その他23,539)

健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、その住宅を困窮する低所得者に対して、低廉な家賃で賃貸することにより、町民生活の安定と社会福祉の増進に寄与します。

今年度は、粕屋町営住宅長寿命化計画に基づき、内橋団地のバリアフリー化等改修工事を実施します。



内橋団地

基本目標 4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち

この政策の実現のため、平成31年度は予算額11億3,248万8千円を計上し、30事務事業を実施します。

1 町民のための行政経営のまちづくり

予算額 445,478千円(20事務事業)

重点 電子広報広聴管理事業

事業費 14,211 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(町費14,091・その他120)

効果的な情報発信や広聴活動により、町政や地域に関する情報の共有化を図るとともに、町の魅力を発信します。

今年度は、町ホームページのリニューアルを実施します。

協働のまちづくり課 ☎ 938-0173



柏屋町ホームページ

重点 行財政改革推進事業

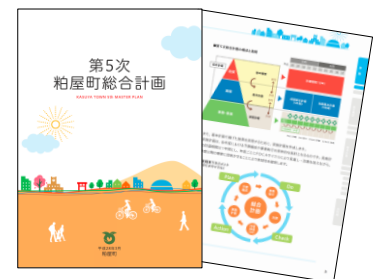
事業費 10,986 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(町費10,986)

限りある行政資源を有効活用し、町民視点・経営的視点で、成果重視の行政運営を進めます。

今年度は、第5次柏屋町総合計画後期基本計画の策定に着手します。多くの町民の皆様のご参画のもと、町民と行政がまちをめざす将来像を共有できる計画を策定します。

経営政策課 ☎ 938-0175



第5次柏屋町総合計画

参議院議員通常選挙施行事務

事業費 25,975 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(県費19,500・町費6,475)

民主政治の健全な発達のため、参議院議員通常選挙関係の事務を行います。

また、投票率向上のために町内商業施設の期日前投票所の増設、広報誌や町内商業施設における選挙啓発を行います。

総務課 ☎ 938-0162



電算管理事業

経営政策課 ☎ 938-0175

事業費 56,799 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(町費56,799)

住民生活や地域の社会経済活動に関する情報資産を保護するため、情報システムの適切な運用管理、情報セキュリティ対策を講じます。

今年度は、ネットワーク基盤の更改やWindows10へのアップグレードを計画的に進めます。



2 健全な財政運営のまちづくり

予算額 259,350千円(7事務事業)

ふるさと納税事業

協働のまちづくり課 ☎ 938-0173

事業費 51,044 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(町費51,044)

ふるさと納税制度の趣旨に沿って、地域活性化及び財源確保を図るため、地域振興に寄与する特産品等を活用して取り組みます。



ふるさと納税サイト

重点 町有財産管理事務

総務課 ☎ 938-0162

事業費 120,412 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(町費116,964・その他3,448)

町有財産(公共施設)を長期間にわたって安全で良好な状態で使用するため、適切に更新や維持管理を行います。町有財産(土地等)を有効に活用することで、財源を確保します。法令に沿った公平・公正な入札の執行及び契約の締結を行います。

今年度は、粕屋町公共施設等総合管理計画に基づいた施設ごとの長寿命化計画(個別施設計画)を策定します。



粕屋町役場庁舎

3 広域的な視点に立ったまちづくり

予算額 427,660千円(3事務事業)

広域連携事業

経営政策課 ☎ 938-0175

事業費 101 千円 一般会計(総務費)

財源内訳(町費101)

福岡都市圏及び粕屋中南部地域の広域連携により、高次で均質な行政サービスや一体的な地域振興を図ります。

今年度は、県内で大規模なスポーツイベントが開催されるため、各種大会を盛り上げるとともに、子どもたちへ観戦教室や体験教室などを通してスポーツの普及啓発に取り組みます。



V 予算資料

1. 総括表

(単位：千円)

	平成31年度	平成30年度	比較増減	対前年比 (%)
一 般 会 計	14,597,000	13,631,000	966,000	7.1
特 別 会 計	6,994,033	6,887,922	106,111	1.5
国民健康保険	4,010,722	4,053,054	△ 42,332	△ 1.0
後期高齢者医療	516,816	496,051	20,765	4.2
介護保険	2,465,320	2,337,807	127,513	5.5
保険事業勘定	2,450,034	2,317,826	132,208	5.7
介護サービス勘定	15,286	19,981	△ 4,695	△ 23.5
住宅新築資金等貸付事業	1,175	1,010	165	16.3
合 計	21,591,033	20,518,922	1,072,111	5.2

(単位：千円)

公 営 企 業 会 計		平成31年度	平成30年度	比較増減	対前年比 (%)
水道事業	収益的収入	1,046,892	1,038,275	8,617	0.8
	収益的支出	926,949	912,537	14,412	1.6
	資本的収入	4,100	4,100	0	0.0
	資本的支出	500,241	415,307	84,934	20.5
流域関連 公共下水道 事業	収益的収入	1,267,450	1,326,605	△ 59,155	△ 4.5
	収益的支出	1,344,472	1,332,770	11,702	0.9
	資本的収入	791,044	863,292	△ 72,248	△ 8.4
	資本的支出	1,043,281	1,118,093	△ 74,812	△ 6.7



【一般会計とは】

目的を限定せずに、行政運営の基本的な経費を管理する会計です。子育て支援、高齢者や障がい者のための福祉事業、生活基盤（学校、道路、公園等）の整備や健康づくりなど、生活全般に関係する事業に必要なお金の管理を行います。

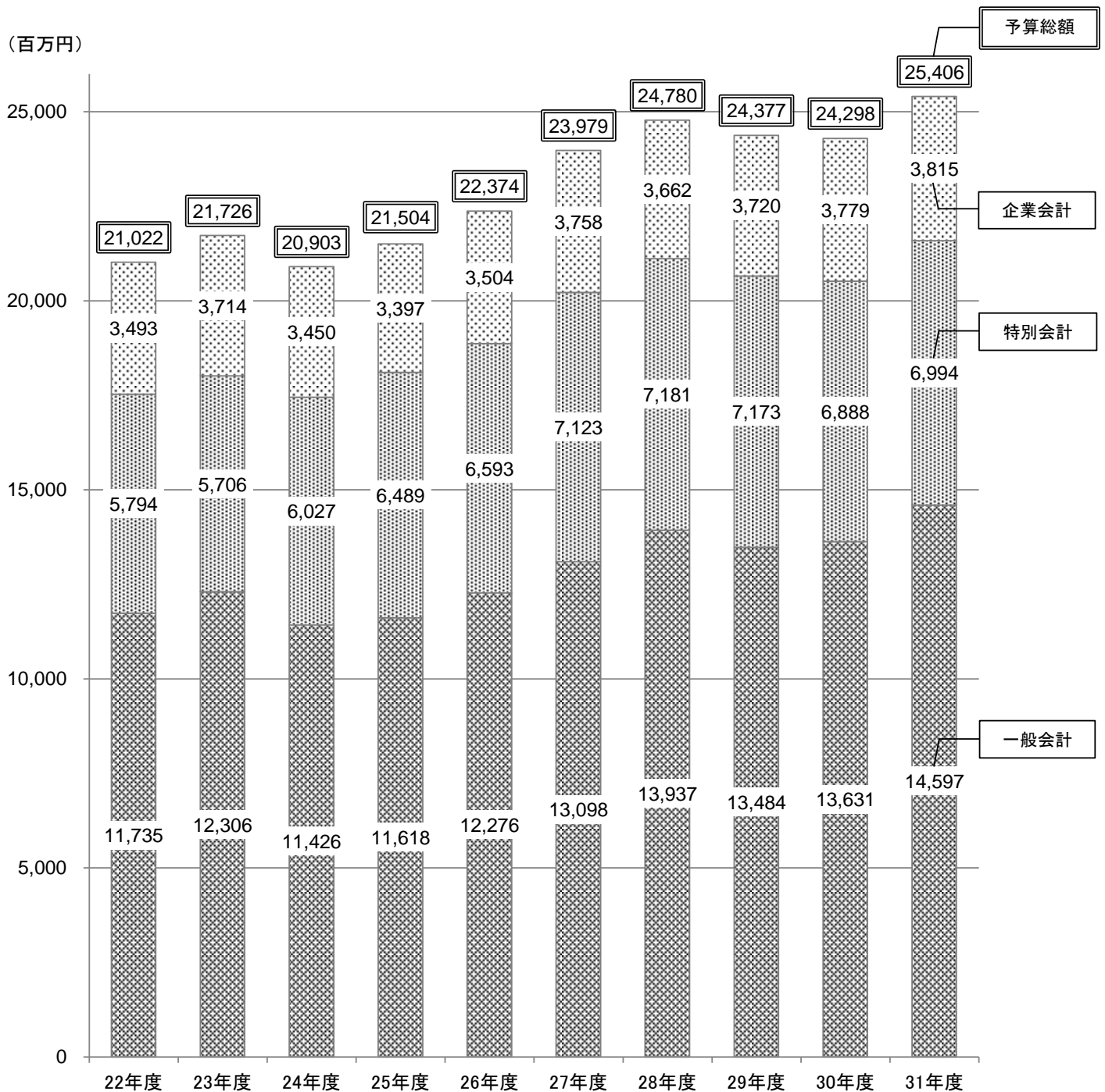
【特別会計とは】

特定の事業や特定の資金を運用するために、一般会計と区分して管理する会計です。かかった経費を保険料など入ってくるお金でまかなうため、一般会計とは別にしています。

【企業会計とは】

地方公共団体が営む公共的な事業（水道事業など）を管理する会計です。民間企業と同じように、利用した人から料金をもらって（事業で収入をあげて）、かかる経費をまかないます。

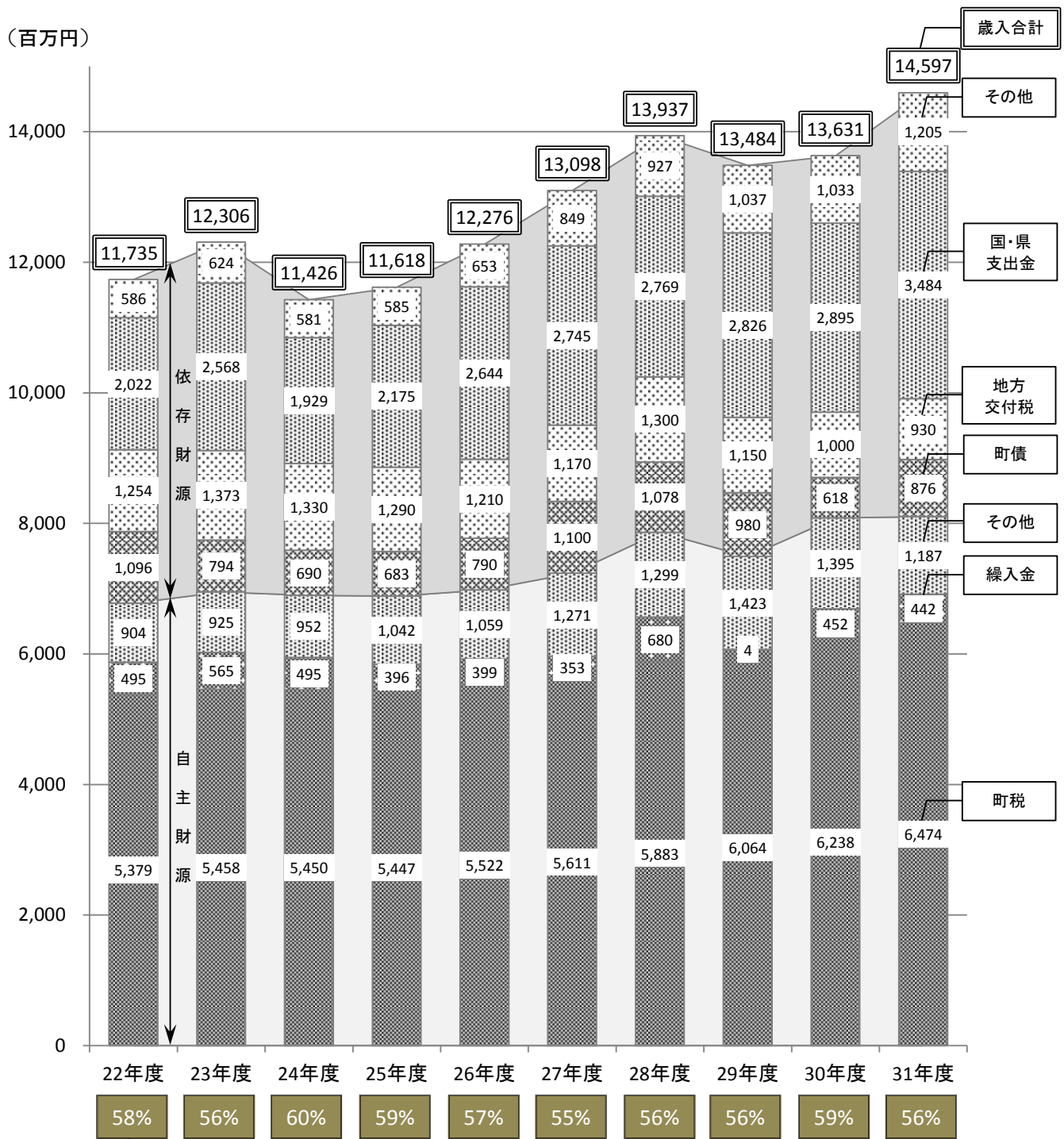
2. 予算規模の推移（一般会計・特別会計・企業会計）



※端数処理（四捨五入）により合計が一致しない場合があります。

※企業会計は収益的支出と資本的支出の合計額を記載しています。

3. 自主財源比率の推移（一般会計）



全体に占める
自主財源の割合
＝自主財源比率

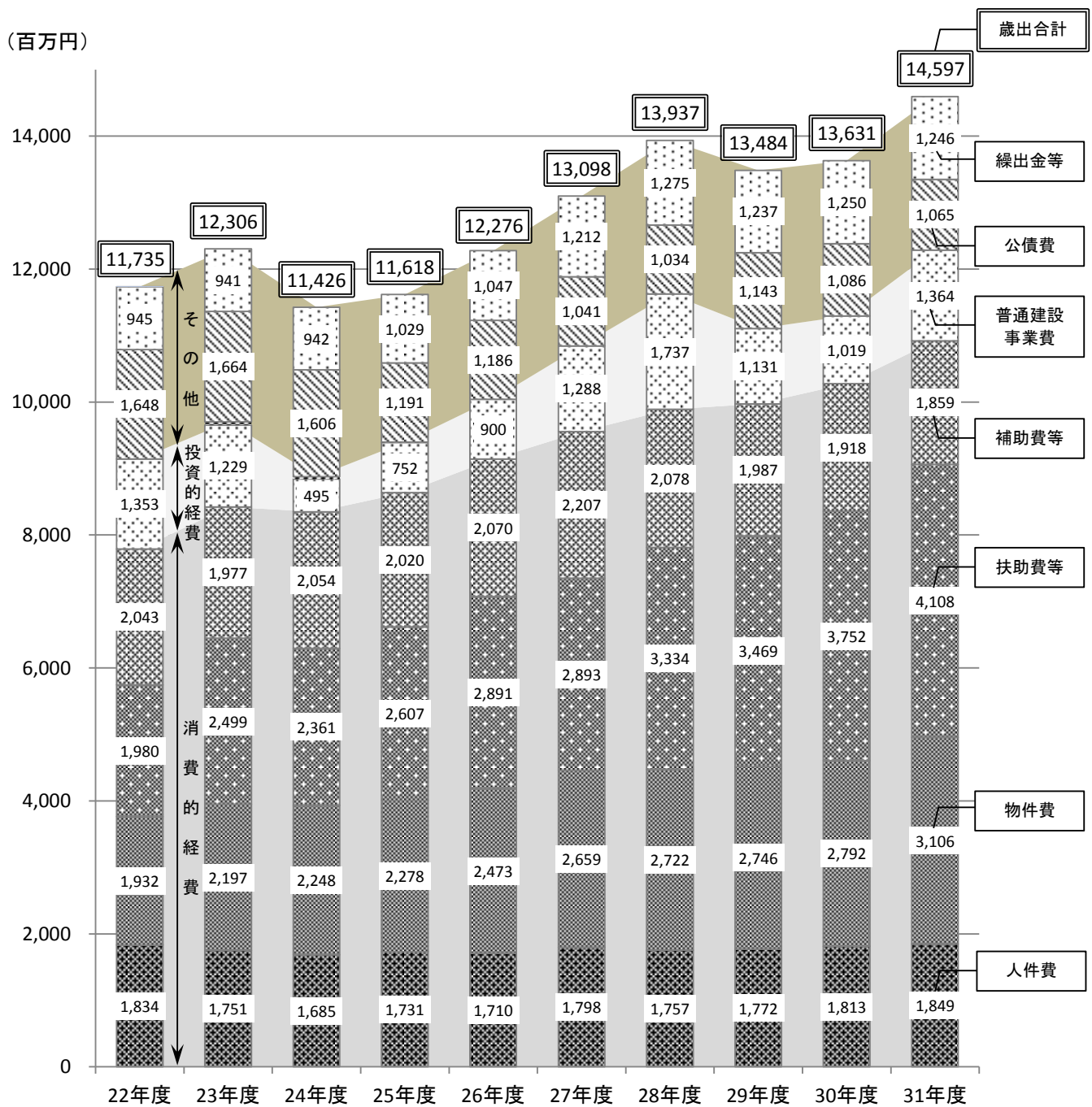
【自主財源とは】

地方公共団体が自主的に収入できる財源です。町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入があります。

【依存財源とは】

国や県の配分による財源です。地方交付税、国・県支出金、地方譲与税、町債があります。

4. 消費的経費・投資的経費の推移（一般会計）



※端数処理（四捨五入）により合計が一致しない場合があります。



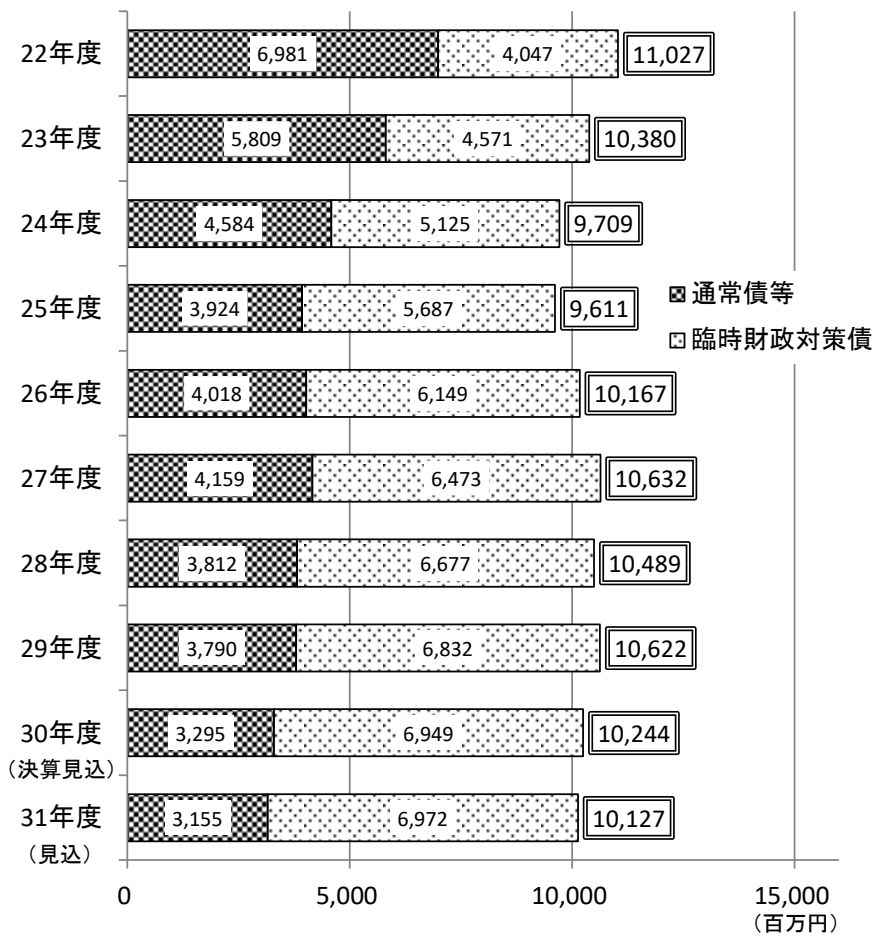
【消費的経費とは】

支出効果が単年度又は短期間に終わるものであり、後年度に形を残さない経費です。
人件費、物件費、維持補修費、扶助費、補助費などをいいます。

【投資的経費とは】

社会資本整備など、支出の効果が長期にわたる経費です。
普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費をいいます。

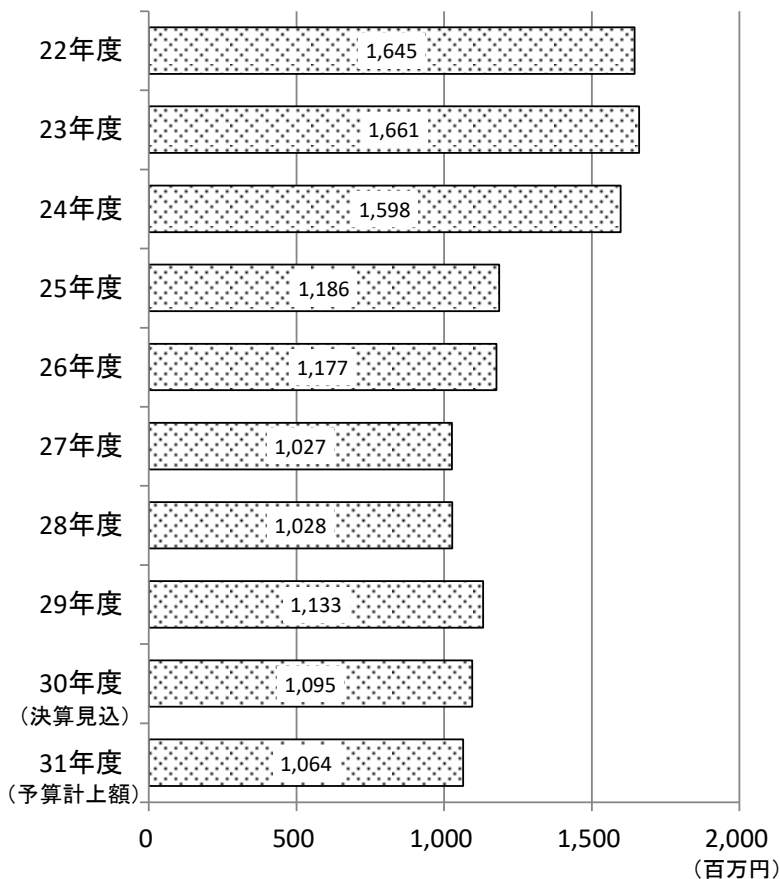
5. 地方債残高の推移（一般会計）



【臨時財政対策債とは】

地方一般財源の不足分を補うため、平成13年度から特例的に普通交付税の振替として発行されている地方債（地方公共団体の借金）で、元利償還金相当額が後年度の地方交付税に算入されます。

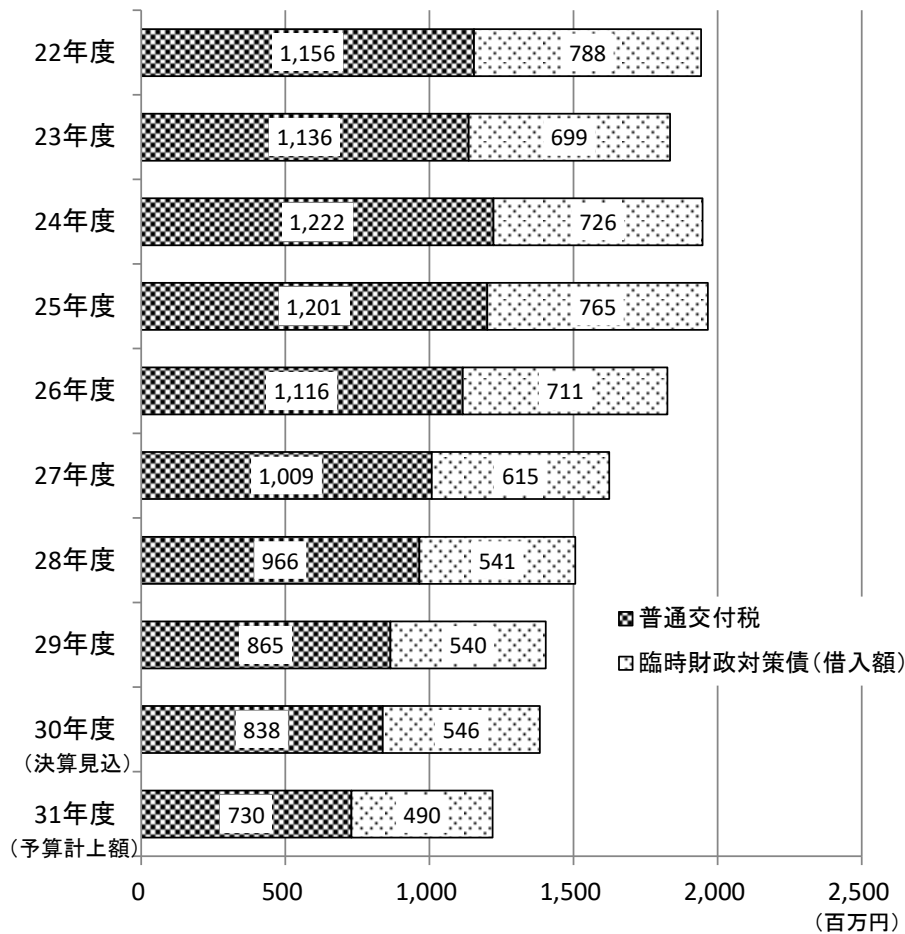
6. 公債費の推移（一般会計）



【公債費とは】

借金である地方債の返済に充てる費用で、元金と利息の合計です。

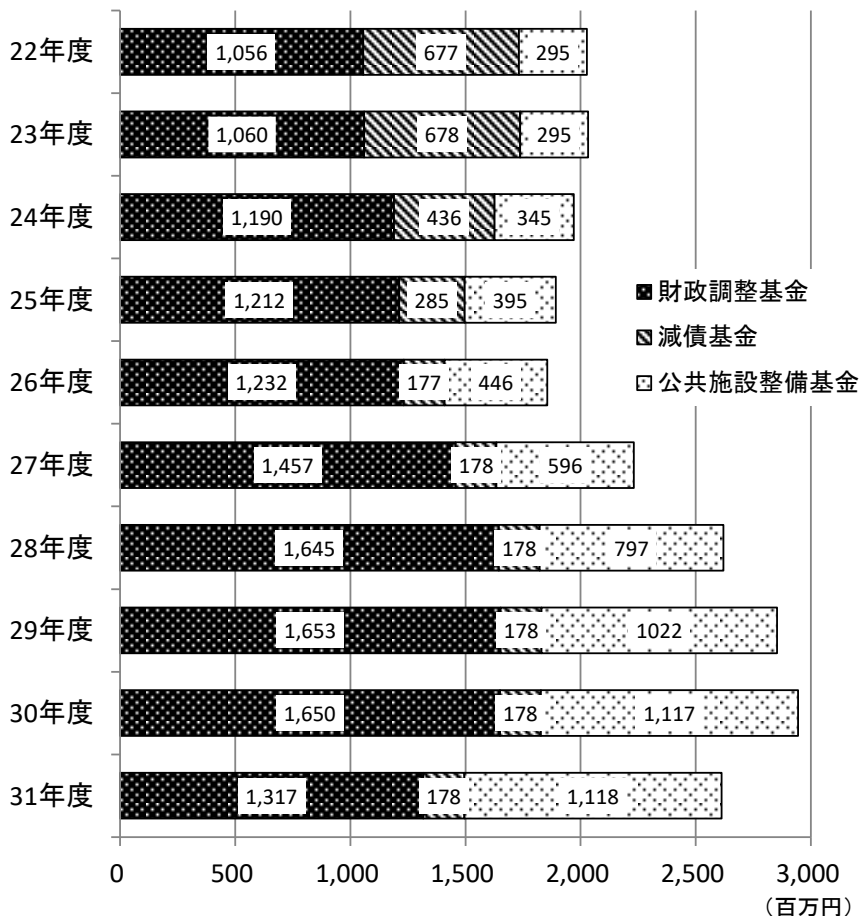
7. 普通交付税と臨時財政対策債の推移



【普通交付税とは】

町の行政運営に必要な経費を一定の方法により算出した額(基準財政需要額)から、町に入る税金などをもとに計算した額(基準財政収入額)を差し引いた額で、国から交付されるものです。

8. 基金の推移



【財政調整基金とは】

将来の予期しない財源不足に対応するために積み立てる基金です。

【減債基金とは】

地方債の償還や借入れの信用の維持のために積み立てる基金です。

【公共施設整備基金とは】

将来の公共施設建設や財産維持のために積み立てる基金です。

これらの他に、地域福祉基金や井堰管理基金など特定目的に使う基金があります。

9. 地方債と基金の状況

(単位：千円)

区	分	平成29年度末 現在高	平成30年度末 現在高見込額	平成31年度増減見込み		平成31年度末 現在高見込額
				当該年度中 起債見込額	当該年度中 元償還見込額	
一般会計		10,622,126	10,244,403	900,000	1,017,411	10,126,992
流域関連公共下水道事業会計		9,285,587	8,941,846	491,400	873,600	8,559,646
水道事業会計		1,161,275	1,025,718	0	140,256	885,462
合計		21,068,988	20,211,967	1,391,400	2,031,267	19,572,100

(単位：千円)

区	分	平成29年度末 現在高	平成30年度末 現在高見込額	平成31年度増減見込み		平成31年度末 現在高見込額
				当該年度中 積立見込額	当該年度中 取り崩し見込額	
一般会計		3,624,869	3,680,650	87,868	440,702	3,327,816
国民健康保険特別会計		3,000	3,000	0	0	3,000
介護保険特別会計		154,223	162,152	51	40,000	122,203
流域関連公共下水道事業会計		120,000	150,000	0	150,000	0
水道事業会計		797,000	897,000	0	260,000	637,000
合計		4,699,092	4,892,802	87,919	890,702	4,090,019